

---

---

# 原 著

---

---

## 肺結核患者ニ於ケル Mantoux「ツベルクリン」 皮内反應ニ關スル一觀察

大阪市立刀根山病院(院長 太繩博士)

中 條 元 一

### 緒 論

肺結核ニ於テ、病機進行シテ豫後ガ悪イ様ナ場合ニハ、「ツ」皮膚反應ガ弱ク、又ハ陰性トナリ病機未ダ輕ク豫後ノヨイ場合ニハ、「ツ」皮膚反應ハ強陽性ニ表ハレル事ハ、一般ニ確認セラレタ事實デアル(芳賀、Scheurlen, Stein)。併シ嚴密ニ云フト、「ツ」皮膚反應カラ、直チニ、病機ノ程度及豫後ヲ定メル事ノ困難ナ場合ガ多イ。何トナレバ、「ツ」皮膚反應ハ單ニ結核病機ニヨツテ支配セラレルダケデナク、色々ノ副因ニヨツテモ左右セラル、カラデアル。Moro, Guth, Schubert 及岩佐氏等ハ、「ツ」皮膚反應ハ植物性神經系統殊ニ Vasomotoren ノ被刺戟性ト密接ナ關係ガアル事ヲ述べ、Pilcher ハ重症肺結核ニ於テ「ツ」皮膚反應ガ微弱ニナルノハ皮膚及皮下組織ノ血液循環ガ悪クナル爲デアルト云ツテ居リ、小林氏ハ重症肺結核患者ノ喀痰中ノ「ツ」様反應物質ニ就イテ研究シテ、重症者ノ「ツ」皮膚反應ノ陰性ニナル原因ヲ、病竈ヨリスル「ツベルクリン」馴染ノ結果デアルトシテキル。從ツテ肺結核患者ノ豫後ハ「ツ」皮膚反應ト必ズシモ一致スルモノデナイ。

他方ニ於テ、肺結核患者ニ表ハレル色々ノ症狀ヲ見ルニ、病竈自身カラ發現シテキルモノ、外

ニ、一種ノ中毒症狀ト見做スベキモノモ甚ダ少クナイ。既ニ、Sternberg ハ是等ノ症狀ヲ菌體及病竈カラ排出セラレタ物質ニヨル中毒現象ト見做シ、其ノ程度ニ應ジテ、Kompensation, Subkompensation 及 Dekompensation ノ三階段ニ分チテキル。植物性神經系統ノ變調ノ如キモ畢竟ハ中毒現象ニ外ナラス。

此處ニ中毒現象トハ、非特異性ノ全身的異常反應トモ云フベキモノデアツテ、特殊變化ヲ有セザル組織細胞ノ機能異常ヲ總括的ニ意味スルモノデアル。

此ノ様ナ意味ニ於テ、肺結核患者ノ中毒現象トシテハ、體溫ノ變動、體重ノ増減ハ勿論、赤血球沈降反應、白血球像、尿ノ「デアツ」反應並「ウロクロモゲン」反應、及新陳代謝異常等ガ算ヘラレル。

ソコデ、一定ノ毒素ニヨリ組織細胞ガ傷メラレ上記ノ如キ色々ノ中毒現象ヲ表ハスニ至ツタ様ナ患者ノ「ツ」皮内反應ガ如何デアラウカト考ヘテ、本實驗ヲ試ミタ次第デアル。

患者ハ今迄永ラク觀察シテキテ、其ノ經過ヲ略明カニ知り得タ者ノミデアル。

實 驗

[方法] 1. 「ツ」皮内反應。帝國傳染病研究所ノ「アルトツベルクリン」ヲ、嚴密ニ生理的食鹽水デ 2000 倍ニ稀釋シテ、其ノ 0.1 兪ヲ上膊内側ノ皮内ニ注射シタ。觀察時間ハ 24 時、48 時、72 時後ノ 3 回トシテ、發赤部ハ目デ見テ其強弱ヲ定メ、廣サハ卷尺デ長徑ト短形トヲ測定シタ。二重發赤ノ場合ハ内側ノモノヲ觀察シタ。硬結ハ指デ抓ンデ見テ、健康皮膚部ト比較シテ其肥厚程度ニヨツテ、強弱ヲ定メタ。判定ハ廣サ 2 糎以上デ、發赤硬結共ニ中等度以上ノモノヲ陽性トシタ。併シ夫等ノヨク一致セナイ場合ハ重キニ從ツテ適宜ノヲ判定シタ。

2. 赤血球沈降反應。Westergren 氏法ニ仍リ 30 分毎ニ度目ヲ讀ンデ 2 時間ニ及ブ。1 時間後ニ 80m.m. 以上ヲ降下シテキルモノヲ陽性トシタ。

3. 白血球像。赤血球沈降反應ノ際ニトツタ靜脈血ノ一滴ヲ以テ染色標本ヲ作り、Schilling ノ方法ニヨツテ判定シタ。

4. Ehrlich「デアツ」反應並「ウロクロモゲン」測定。「デアツ」反應ハ成書ノ如ク施行シ、「ウロクロモゲン」測定ハ Weiss ノ方法ニヨツタ。「ウロクロモゲン」測定ハ、原尿比色度ニ對シ酸化尿比色度ノ 2 倍以上ヲ陽性トシタ。

5. 糖負荷試驗。腸面積 100 平方糎ニ就キ、1 瓦ノ葡萄糖ヲ早朝空腹時ニ溫湯ヲ以テ、飲用サセ爾後 30 分オキニ 4 回採血シテ、Hagedorn-Jensen ノ方法ニヨツテ血糖ヲ測定シタ。血糖曲線ノ經過ヲ見テ、血糖價ノ降下遲延シテキルモノヲ糖ノ消費障得アルモノトシタ。

6. 局所症狀ハ理學的所見ノ外、「レントゲン」像ヲ參考トシ、又、體溫及體重ハ「カルテ」記載ヲ其儘用ヒタ。體重ハ毎週 1 回測定スル事ニナツテキル。體溫ハ 37.5C 以上ヲ持續シテキル者ヲ陽性トナシ、體重ハ單ニ増加乃至減少ノ傾向ノミヲ見ルニ止メタ。

[成績] 第 1 例 松○作○ 20 歳 男子

右肺ハ萎縮性増殖性ナルモ、左肺ハ強イ滲出性デアツテ、喀痰咳嗽多ク、喀痰中ニ結核菌+4 (gaffky 以下之ニ準ズ)ヲ證明スル。時々下痢ヲ起スモ止痢劑デヨク奏效ス。盜汗ハナイ。體溫ハ最高 38.2C ヲ示シ、脈搏ハ 90 前後デアル。體重ハ降下ノ傾向ヲ示シテキル。

赤沈反應 79 100 110 114 (是ハ 30 分、1 時間、1 時半、2 時間後ノ順序ニ列ベタモノデアル。以下之ニ從フ)。

白血球像 9200; 0, 4; 0, 0, 11, 48; 30, 7

判定 陽性

尿「デアツ」反應 陽性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I (3200) II (2600) III (3500)  
酸化尿比色度 I (11800) II (5500) III (8030)

判定 陽性

(尙尿ニ就テハ尿量、比重、反應等必要ナルモ茲デハ記載ヲ省ク。又 I、II、III ノ數字ハ第 1 日、第 2 日、第 3 日ヲ意味スルモノデアル)。

糖負荷試驗 0.078 0.108 0.102 0.113

0.100 判定 陽性

(上ノ數字ハ空腹時、及糖負荷後 30 分、1 時間、1 時半、2 時間ノ順序ニ血糖價ヲ示シタモノデアル)。

マンツー反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間			輕(2.0) 3.0	輕	陰性
48時間	輕(2.0) 2.0	輕	無	無	
72時間			無	無	

(括弧内ノ數字ハ廣サノ兩徑ヲ糎デ示ス)

第 2 例 高○輝○ 22 歳 男子

右肺ハ萎縮性變化ト肺尖加答兒ヲ示シ、左肺ハ滲出性變化ヲ示ス。レ像ニ肺門腺ノ腫脹ヲ見ル。喀痰咳嗽多ク、喀痰中結核菌+7 證明ス。體溫ハ 37.3C 位デアリ、脈搏ハ 80 前後デアル。

盜汗ハ少イ。體重ハ停止狀態デアル。

赤沈反應 63 91 100 107  
 白血球像 7950; 0, 2; 0, 0, 7, 59; 29, 3  
 判定 陽性  
 尿「デアツ」反應 陰性  
 尿「ウロクロモゲン」量  
 原尿比色度 I(2380) II(2160) III(2000)  
 酸化尿比色度 I(6720) II(4080) III(5400)  
 判定 陽性  
 糖負荷試験 0.077 0.092 0.111 0.108  
 0.098 判定、陽性

マンツ一氏反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間			輕(2.5) 2.5)	輕	陰性
48時間	輕(2.0) 2.0)	輕	無	輕	
72時間			無	輕	

第 3 例 大○大○○ 25 歳 男子

左右兩肺共ニ滲出性變化ヲ示シ、皮膚蒼白デア  
 ル。體溫ハ最高 38°0C デアリ、脈搏ハ 100 位  
 アル。咳嗽喀痰多ク、喀痰中ニハ結核菌+5 證  
 明スル。盜汗多ク、體重ハ減少傾向著明デア  
 ル。腹部ニハ一般ニ抵抗ガアツテ壓痛ヲ訴フ。頑  
 ナ下痢ガ續イテ止痢劑ニヨツテ奏效セナク。

赤沈反應 124 135 136  
 白血球像 7600; 0, 2; 1, 0, 8, 57; 26, 5  
 判定、陽性  
 尿「デアツ」反應 陽性  
 尿「ウロクロモゲン」量  
 原尿比色度 I(2250) II(1690) III(3000)  
 酸化尿比色度 I(9080) II(5950) III(8800)  
 判定、陽性  
 糖負荷試験 0.062 0.102 0.097 0.095  
 0.088 判定、陽性

マンツ一氏反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	無	無			陰性
48時間	無	無			
72時間					

第 4 例 木○源○ 26 歳 男子

右肺ハ空洞ヲ有スル滲出性デアツテ、左肺ハ少  
 數ノ小水泡音ヲ聞ク。心臟ハ少シ右方ニ移行シ  
 テキル様デ、右側ニ肋膜肥厚ガアル。咳嗽喀痰  
 ハ少イガ、喀痰中ニハ結核菌ヲ+4 證明ス。體  
 溫ハ 37°.5C 以上ヲ持續シ、脈搏ハ 80 前後デア  
 ル。皮膚ハ蒼白デ盜汗ハナク、時々腹痛及下痢  
 ヲ訴ヘ觸診的ニ一般ニ抵抗ガアル壓痛ハナク。  
 體重ハ増加ノ傾向ヲ示シテキル。

赤沈反應 85 100 104 107  
 白血球像 7540; 0, 2; 0, 0, 7, 55; 31, 5  
 判定、陽性  
 尿「デアツ」反應 陰性  
 尿「ウロクロモゲン」量  
 原尿比色度 I(2400) II(2340) III(2520)  
 酸化尿比色度 I(3600) II(3510) III(3080)  
 判定、陰性  
 糖負荷試験 0.079 0.098 0.116 0.121  
 0.109 判定、陽性

マンツ一氏反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	無	無	輕(2.5) 2.0)	輕	弱陽性
48時間	輕(2.0) 1.5)	輕	中(2.5) 2.5)	輕	
72時間			輕(2.0) 1.5)	輕	

第 5 例 長○○良○ 33 歳 男子

左肺ハ空洞ヲ有シ、滲出性増殖性變化著明デア  
 ツテ、肋膜肥厚ガアル。右肺ハ増殖性萎縮性デア  
 ル。咳嗽ハ中等度デ、喀痰ハ多量デア  
 ル。喀痰中ニハ結核菌+6 ヲ證明ス。盜汗ハナク時々  
 胸痛及血痰ヲ出スモ、患者ハ元氣デア  
 ル。體溫 37°.5C 内外脈搏 70 前後體重ハ上昇傾向ヲ示シ  
 テキル。

赤沈反應 40 74 98 104  
 白血球像 7300; 0, 6; 0, 0, 6, 56; 28, 3  
 判定、陽性  
 尿「デアツ」反應 陰性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(2450) II(2800) III(2250)  
酸化尿比色度 I(3200) II(—) III(—)

判定、陰性

糖負荷試験 0.099 0.134 0.137 0.119  
0.083 判定、陰性

マンツ一反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	強(3.5) (3.0)	強	中(2.5) (3.0)	中	強陽性
48時間	強(2.5) (3.5)	中	強(3.0) (3.5)	中	
72時間	強(3.0) (2.5)	中	強(2.5) (2.5)	中	

第6例 穴○武○ 31歳 男子

兩肺共ニ滲出性増殖性變化ヲ有シ、左肺ニ空洞ヲ有ス。咳嗽喀痰多ク、喀痰中結核菌ハ+7デアル。體温 37°.5C 以上デアリ、脈搏ハ 80 前後デアル。甚ダ瘦削シテキルガ、體重ハ不變デアル。

赤沈反應 78 104 111 114

白血球像 10900; 0, 3; 0, 0, 10, 70; 12, 4  
判定、陽性

尿「デアツ」反應 陽性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(2300) II(2300) III(1680)  
酸化尿比色度 I(6000) II(7000) III(3680)

判定、陽性

糖負荷試験 0.077 0.109 0.110 0.118  
0.093 判定、陽性

マンツ一反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	輕(2.0) (2.0)	輕	輕(2.0) (2.5)	輕	陰性
48時間	殆無	輕	殆無	輕	
72時間	殆無	輕	無	輕	

第7例 内○○ 19歳 男子

右肺ハ増殖性變化ト思ハレルモ、左肺ハ膿氣胸ヲ有シ、肺臟所見明瞭デナイ。前回第4肋骨以

上ハ濁音ヲ示シ氣管枝音及水泡音ヲ聞キ、背面上半ハ輕濁音デアツテ、呼吸音甚ダ弱ク僅カノ水泡音ヲ聞クモ、下半部ハ中等度濁音ニシテ呼吸音ハ殆ンド聞エナイ。咳嗽喀痰ハ甚ダ多ク膿性デアツテ、雜菌ハキルガ、結核菌ヲ證明セナイ。體温ハ 37°.8C 以上、脈搏ハ 80 前後、盜汗ハナイ。體重ハ下降ノ傾向ヲ示シテキル。

赤沈反應 75 99 109 114

白血球像 18800; 0, 1; 1, 0, 3, 67; 22, 6  
判定、陽性

尿「デアツ」反應 陰性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(3780) II(3200) III(2700)  
酸化尿比色度 I(6120) II(5600) III(5200)

判定、陰性

糖負荷試験 0.074 0.092 0.095 0.083  
0.088 判定、陽性

マンツ一反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	輕(2.5) (2.5)	輕	中(2.5) (2.0)	輕	弱陽性
48時間	輕(2.5) (2.0)	中	中(2.0) (2.5)	中	
72時間	輕(2.0) (2.0)	輕	輕	輕	

第8例 北○太○ 19歳 男子

左右兩肺共ニ増殖性萎縮性變化ヲ示シ、右肺上部ニ空洞ヲ證明スル。體温ハ 37°.7C 位、脈搏 80 前後、咳嗽喀痰多ク、喀痰中結核菌+5 證明スル。盜汗ハナク、體重不變デアル。

赤沈反應 57 87 98 109

白血球像 7400; 0, 2; 0, 0, 5, 60; 29, 4  
判定、陽性

尿「デアツ」反應 陰性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(1650) II(1150) III(1260)  
酸化尿比色度 I(1815) II(1600) III(16210)

判定、陰性

糖負荷試験 0.081 0.123 0.129 0.121  
0.103 判定、陰性

マンツー反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間			輕 <sup>(2.5)</sup> <sub>(2.0)</sub>	輕	陰性
48時間	輕 <sup>(3.0)</sup> <sub>(3.0)</sub>	輕	輕 <sup>(2.5)</sup> <sub>(2.0)</sub>	輕	
72時間			殆無	輕	

第9例 林〇〇助 24歳 男子

右肺ハ空洞ヲ有シ増殖性ナルモ、一部滲出性ト思ハル、所モアル。左肺ハ増殖性デア。咳嗽喀痰共ニ少イガ、喀痰中一ハ結核菌+6證明ス。體溫 37°.5C 迄、脈搏 70 前後、體重ハ増加シテキル、盜汗ノ甚ダ多イノハ特徴デア。赤沈反應 23 55 75 85

白血球像 11000: 0, ±, 0, 0, ±, 63; 24, 5

判定、陰性

尿「デアツ」反應 陽性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(3000) II(2420) III(2300)  
酸化尿比色度 I(6400) II(4400) III(5300)

判定、陽性

糖負荷試験 0.086 0.113 0.119 0.098

0.079 判定、陰性

マンツー反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	輕 <sup>(2.5)</sup> <sub>(2.5)</sub>	中	輕 <sup>(3.0)</sup> <sub>(2.0)</sub>	中	中等陽性
48時間	中 <sup>(3.0)</sup> <sub>(3.0)</sub>	中	中 <sup>(2.5)</sup> <sub>(2.5)</sub>	中	
72時間	輕 <sup>(2.0)</sup> <sub>(2.0)</sub>	輕	輕 <sup>(2.0)</sup> <sub>(2.0)</sub>	中	

第10例 芝〇富〇〇 29歳 男子

兩肺共ニ萎縮性増殖性變化ヲ示シ、咳嗽喀痰少ク、喀痰中結核菌陰性デア。皮膚ハ貧血性デ體溫ハ 37°.5C 以上ナルモ平脈デ、體重不變デア。赤沈反應 24 40 57 75

白血球像 9700: 0, 2; 0, 0, 8, 59; 27, 3

判定、陽性

尿「デアツ」反應 陰性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(2080) II(2400) III(3000)  
酸化尿比色度 I(3520) II(3800) III(4800)

判定、陰性

糖負荷試験 0.083 0.118 0.128 0.114

0.099 判定、陽性

マンツー反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	輕 <sup>(2.5)</sup> <sub>(2.0)</sub>	輕	輕 <sup>(2.0)</sup> <sub>(2.0)</sub>	輕	陰性
48時間	輕 <sup>(2.5)</sup> <sub>(2.0)</sub>	輕	輕 <sup>(2.5)</sup> <sub>(2.5)</sub>	輕	
72時間	輕 <sup>(2.0)</sup> <sub>(2.0)</sub>	輕	無	輕	

第11例 宮〇貞〇 31歳 男子

兩肺共ニ増殖性萎縮性變化ヲ示シ、レ像ニ肺門腺ノ肥大ヲ見ル。脈搏體溫共ニ尋常、喀痰中結核菌ハ+2證明ス。時々喘息ノ發作ガアル。赤沈反應 26 66 81 93

白血球像 8700: 0, 7; 0, 0, 2, 58; 32, 2

判定、陰性

尿「デアツ」反應 陰性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(1400) II(2200) III(1900)  
酸化尿比色度 I(—) II(3000) III(—)

判定、陰性

糖負荷試験 0.102 0.141 0.127 0.098

0.100 判定、陰性

マンツー反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	強 <sup>(2.7)</sup> <sub>(3.2)</sub>	中	強 <sup>(3.0)</sup> <sub>(4.5)</sub>	強	強陽性
48時間	強 <sup>(3.0)</sup> <sub>(2.5)</sub>	中	中 <sup>(3.8)</sup> <sub>(3.5)</sub>	強	
72時間			中 <sup>(4.0)</sup> <sub>(4.0)</sub>	中	

第12例 森〇敏〇 23歳 男子

右肺上葉ニ浸出性變化ヲ有シ、下方ニハ僅カニ

小水泡音ヲ聞ク。左肺下部ニハ滲潤様ノ像ガアル。體温ハ 37°.0C 位、脈搏 80 前後、咳嗽強ク喀痰多ク喀痰中結核菌ハ +5 證明ス。時々血痰ヲ出シ、體重ハ増加傾向デアアル。

赤沈反應 4 13 27 35  
 白血球像 8800; 0, 10; 0, 0, 0, 59; 27, 3  
 判定、陰性  
 尿「デアツォ」反應 陰性  
 尿「ウロクロモゲン」量  
 原尿比色度 I(2720 II(2250 III(2560  
 酸化尿比色度 I(3910 II(2700 III(—  
 判定、陰性  
 糖負荷試験 0.096 0.126 0.108 0.099  
 0.092 判定、陰性

マンツ－反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間					強陽性
48時間	強(5.0 7.0)	強			

第 13 例 花○○○雄 23 歳 男子

兩肺上葉上半ニ増殖性變化アルダケデ、體温脈搏ハ正常、喀痰中結核菌ハ +2 證明スル。體重ハ不變デアアル。

赤沈反應 2 5 12 27  
 白血球像 11500; 0, 6; 0, 0, 0, 59; 32, 3  
 判定、陰性  
 尿「デアツォ」反應 陰性  
 尿「ウロクロモゲン」量  
 原尿比色度 I(2230 II(1900 III(1950  
 酸化尿比色度 I(3120 II(— III(—  
 判定、陰性  
 糖負荷試験 0.089 0.121 0.116 0.092  
 0.081 判定、陰性

マンツ－反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	中(3.0 2.5)	中	中(2.5 2.5)	中	強陽性
48時間	強(4.0 3.5)	強	強(3.5 3.5)	強	
72時間	強(3.5 3.0)	強	強(3.0 3.0)	強	

第 14 例 中○德○ 37 歳 男子

兩肺上葉ニ萎縮性増殖性變化ヲ有シ、横隔膜神經捻除術ノ爲、右肺下底ハ強ク舉上、爲ニ心臟ハ右方ニ偏位シテキル。平温平熱デ、咳嗽喀痰少ク、喀痰中結核菌證明ハ陰性デアアル。體重ハ増加ノ傾向ヲ示シテキル。

赤沈反應 20 37 54 71  
 白血球像 10400; 0, 3; 0, 0, 0, 50; 43, 4  
 判定、陰性  
 尿「デアツォ」反應 陰性  
 尿「ウロクロモゲン」量  
 原尿比色度 I(1800 II(1100 III(1900  
 酸化尿比色度 I(— II(2100 III(—  
 判定、陰性  
 糖負荷試験 0.091 0.132 0.117 0.095  
 0.035 判定、陰性

マンツ－反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	中(3.5 3.5)	中	中(4.0 5.0)	中	強陽性
48時間	強(6.0 5.0)	強	強(4.0 5.3)	強	
72時間	中(4.0 4.0)	強	中(5.0 5.5)	中	

第 15 例 上○宗○○ 26 歳 男子

兩肺尖加答兒ニシテ、右肺上葉ニ増殖性ノ病竈ガアル。平温平熱ニシテ、吸痰中結核菌陰性デアアル。體重ハ不變デアアル。

赤沈反應 4 14 30 42  
 白血球像 8600; 0, 4; 0, 0, 0, 56; 35, 4  
 判定、陰性  
 尿「デアツォ」反應 陰性  
 尿「ウロクロモゲン」量  
 原尿比色度 I(2090 II(2040 III(2100  
 酸化尿比色度 I(2880 II(— III(3150  
 判定、陰性  
 糖負荷試験 0.073 0.108 0.088 0.072  
 0.070 判定、陰性  
 マンツ－反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	輕(2.5) (3.0)	中	中(3.0) (3.0)	中	中等陽性
48時間	輕(2.5) (3.0)	中	中(2.5) (3.0)	中	
72時間	輕(2.0) (2.5)	輕	輕(2.0) (2.0)	輕	

第16例 杉○大○ 28歳 男子

兩肺下葉ニ増殖性變化ガアツテ、肺門腺ハ肥大シテキル。平温平熱デアルガ、喀痰比較的多ク、中ニ結核菌+2證明スル。體重ハ増加シテキル。

赤沈反應 10 39 56 69

白血球像 9800; 0, 2; 0, 0, 1, 55; 38, 4

判定、陰性

尿「デアツ」反應 陰性

尿「ウロクロモゲン」量

原尿比色度 I(1800 II(2080 III(1600  
酸化尿比色度 I(2880 II(2500 III(—

判定、陰性

糖負荷試験 0.070 0.106 0.102 0.088  
0.077 判定、陰性

マンツー反應

	第一回		第二回		判定
	發赤	硬結	發赤	硬結	
24時間	強(3.0) (3.7)	強	強(4.0) (4.5)	強	強陽性
48時間	強(4.0) (4.5)	強	強(4.0) (4.0)	強	
72時間	輕	輕	強(3.5) (4.0)	強	

考 察

今成績ヲーツニ纏メテ第一表トスレバ、「ツ」反應陰性ノモノ、中ニハ、Ⅲ期進行性ガ4例、Ⅲ期停止性ガ2例アリ、「ツ」反應弱陽性ノ者ノ中ニハⅢ期進行性2例アリ、又「ツ」反應中等度陽性ノモノ中ニハⅢ期停止性1例、Ⅱ期停止性1例アル。最後「ツ」反應強陽性ノモノ、中ニハⅢ進行性ガ1例、Ⅲ期停止性ガ1例、Ⅱ期進行性ガ1例、Ⅱ期停止性ガ3例アル。此ノ様ナ少數

例ニ於テモ、其結果ハ甚ダ區々デ、是カラ一定ノ關係ヲ見出ス事ハ困難デアル。

第 一 表

番 號	病 態 診 斷	全身狀態		血液狀態		新陳代謝		「マンツー」反應
		體 溫	體 重	赤沈反應	白血球像	尿試 驗	糖試 驗	
1	Ⅲ期進行性	+	+	+	+	+	+	陰性
2	„	-	-	+	+	+	+	陰性
3	„	+	+	+	+	+	+	陰性
4	„	+	-	+	+	-	+	弱陽性
5	„	-	-	-	+	-	-	強陽性
6	„	+	-	+	+	+	+	陰性
7	Ⅲ期進行性?	+	+	+	+	-	+	弱陽性
8	Ⅲ期停止性	+	-	+	+	-	+	陰性
9	„	-	-	-	-	+	-	中等度陽性
10	„	+	-	-	+	-	+	陰性
11	„	-	-	-	-	-	-	強陽性
12	Ⅱ期進行性	-	-	-	-	-	-	強陽性
13	Ⅱ期停止性	-	-	-	-	-	-	強陽性
14	„	-	-	-	-	-	-	強陽性
15	„	-	-	-	-	-	-	中等陽性
16	„	-	-	-	-	-	-	強陽性

次ニ、中毒症狀ヲ全身症狀、血液狀態ノ變化、及新陳代謝ノ三點ニ分類シ、全身症狀ヲ體温體重ノ變化デ表ハシ、血液狀態ヲ赤沈反應及白血球像カラ判定シ、尿ノ「デアツ」反應及「ウロクロモゲン」量ハ蛋白代謝ノ1部ヲ代表スルモノトシテ(渡邊、中條)之ト糖負荷試験トヲ以テ新陳代謝機能ヲ推定スル。ソウスルト、「ツ」反應陰性者及弱陽性者ハ是等三點ノ中必ズ二點以上ノ中毒現象ヲ有スルモ、「ツ」反應中等度陽性ノ者ノ中、1例ハ新陳代謝ダケニ異常ガアツテ、他ノ1例ハ凡テ陰性デアリ、「ツ」反應強陽性者ハ1例ダケ血液狀態ガ陽性デアル外、他ノ全部ハ何レノ中毒現象モ表ハシテキナイ。今同一期同一型ニ屬スル者ダケヲ互ニ比較シテモ、此ノ關係ヲ見ル事ガ出來ル。以上ノ事實カラ、中毒現象ノ強イモノ程「ツ」反應ハ減弱シテキル事ハ明カデアル。

Ginsberg u. Pewsner ハ肺結核患者ヲ Sternberg ノ方法ニヨツテ分類シテ糖代謝ヲ研究シ

Decompensation ノ者ニ於テ代謝異常ガ強イ事ヲ見、又近藤氏ハ尿「デアツォ」反應及ルソー反應ガ「ツ」反應トハ逆比ノ關係ニアルト述ベテキルノハ、ヨク本實驗ト一致シテキル。

更ニ Bessau ハ「ツ」皮膚反應ハ結核個體ノ Entzündungsbereitschaft ヲ示スモノデアツテ、此ノモノハ體細胞ノ機能能力ニ關係スト云ヒ、Szász ハ periphere Allergie ヲ focale Allergie ノ Fernwirkung デアルト考ヘ、focale Allergie ハ結核個體ノ Reaktivität ニ關係スルト云ツテキル。果シテ然ラバ、一定ノ毒素ニヨツテ細胞機能が障礙減退シテ居ル様ナ場合ニハ、自ラ periphere Allergie 從ツテ「ツ」反應モ減

弱スルノハ當然デアラウ。

大谷氏ハ其著書中ニ肺結核ニ於テ「ツ」皮膚反應ガ著明ニ表ハレルノハ、防禦力モ反應力モ強大デアツテ、體細胞ノ機能ハ完全デアルカラ適當ナ刺戟ニ對シテ其體力ヲ増進スル事が出來ルガ「ツ」皮膚反應ノ弱イ者ハ、體細胞ガ疲弊シテ免疫體モ減少シテキルガ故ニ、刺戟療法ニヨツテ十分效果ヲ舉ゲル事が出來ナイト述ベテキル。以上ヲ概括シテ、「ツ」皮膚反應ハ、肺結核患者ノ現在ニ於ケル細胞機能狀態ヲ割合ニ正シク示スモノデアツテ、其簡單ナ手技ト、容易ナ觀察トガ、治療上ニ於テ、尠カラザル便宜ヲ提供スルデアラウト考ヘル。

## 結 論

肺結核患者ノ中デ、Mantoux 「ツベルクリン」皮膚反應ノ弱イモノ、又ハ陰性ノモノハ、結核菌體及病竈カラ産出セラレタ毒素ニヨツテ體細胞ハ傷メラレ、其機能ニ相當變調ヲ來シテキ

ル様デアル。此際病機ノ性質トハ餘リ關係ガナイ様デアル。

擱筆ニ際シ御校閲ヲ賜ハツタ 太細院長ニ深謝ス。

## Literatur.

1) 芳賀, 結核第五卷. 第三號. 2) Scheurten, Beitr. z. Kli. d. Tuberk. Bd. 69, 1928. 3) Stein, Zeitschr. f. Tuberk. Bd. 66, 1932. 4) Moro, zit. nach. Schubert. (s. u.) 5) Guth, Beitr. z. Kli. d. Tuberk. Bd. 54, 1923. 6) Schubert, Beitr. z. Kli. d. Tuberk. Bd. 69, 1928. 7) 岩佐, 結核第六卷. 第二號. 8) Pilcher, The americ. Rev. of Tuberc. Vol. 21, 1930. 9) 小林, 結核第九卷. 第九號. 10) Sternberg, zit.

nach Meerson. Zeitschr. f. Tuberk. Bd. 55. 11) Ginsberg u. Pewsner, Zeitschr. f. Tuberk. Bd. 53. 12) 近藤, 結核第一卷. 13) Bessau, Beitr. z. Kli. d. Tuberk. Bd. 67, 1927. 14) 渡邊, 大阪醫雜. 第二十九卷. 第十一號. 15) 中條, 結核第九卷. 第十一號. 16) Szász, Beitr. z. Kli. d. Tuberk. Bd. 69, 1928. 17) 大谷, 同氏著. 刺戟療法. 九〇頁.